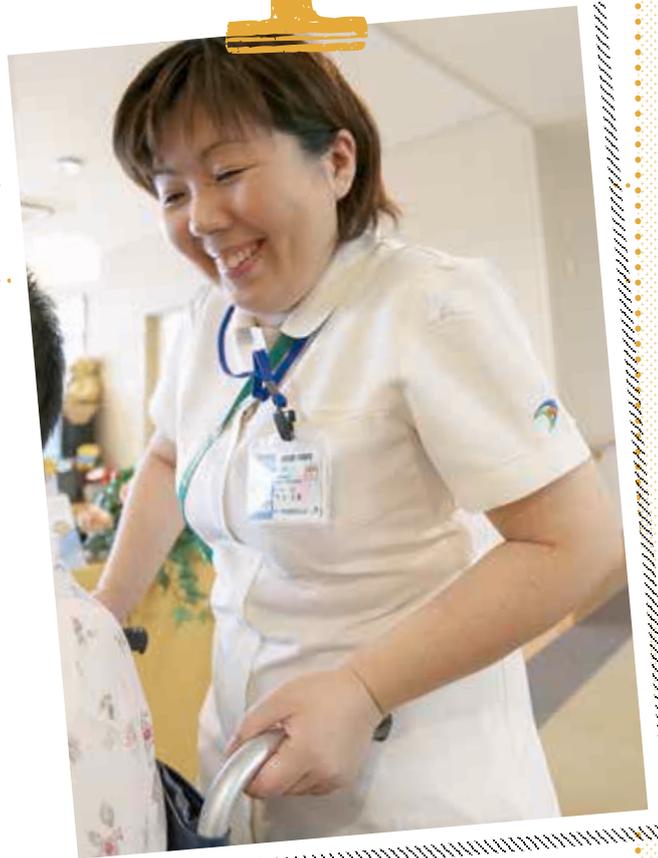


認定看護師の活動について

# 緩和ケア 認定看護師

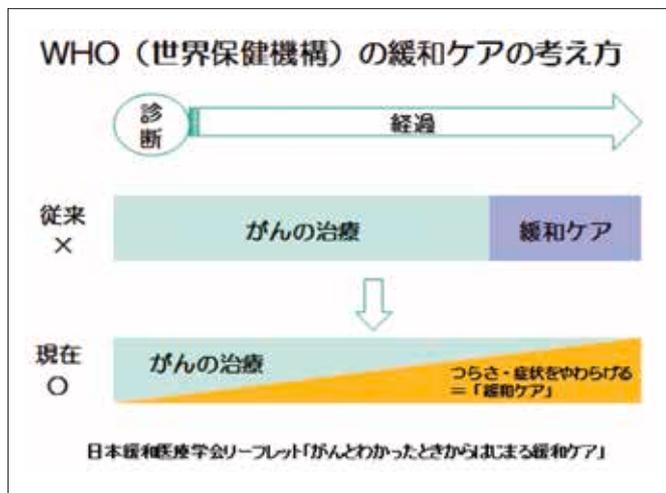
緩和ケア病棟 竹元 千恵



日本人の死亡原因の第1位は「がん」であり、3人に1人が死亡する国民病と言えます。

がん治療には、「手術療法」「化学療法」「放射線療法」「緩和ケア」の4つの柱があります。その一つの「緩和ケア」についてご紹介したいと思います。

「緩和ケア」は「がんと診断されたときから」始まります。



日本緩和医療学会では、「重い病を抱える患者やその家族一人ひとりの身体や心など様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケア」であり、がんの診断から治療過程のすべての時期において身体や心の苦痛に対して、必要な時に適切なケアが提供されるべきである、というように説明されています。

もし、がんと診断されたら、「つらいな、これからどうしよう。」といった気持ちになることでしょうか。



そのような気持ちを医師や看護師に相談することや、治療や入院の費用にかかる経済的な気付きなどを相談して頂き、安心して治療に臨めることも「緩和ケア」であると言えます。

浜田医療センターでは、痛みをはじめとした、がんによる苦痛に対する緩和ケアの知識、技能、態度を修得し、実践できる「緩和ケア研修会」を受講した医師や看護師、薬剤師、栄養士やリハビリテーションスタッフがいます。また、患者様と家族の支援を目的とした「緩和ケアチーム」が毎週木曜日の午後から各病棟をラウンドし、主治医や看護師と連携し患者様・家族のサポートを行っています。

がんに関する相談窓口としての「**がん相談支援センター**」もあります。気になることがあれば、ぜひそばにいるスタッフに声をかけてみてください。きっと、お力になれることがあると思います。

緩和ケア病棟では、

**毎月第1・4木曜日10時から「緩和ケア病棟見学会」を行っています。**

興味のある方、緩和ケアに関する疑問や質問がある場合でもぜひ、ご参加ください。お待ちしております。